

くっく

※ 5 領域の視点

「健康・生活」

特定の時間を療育活動と設定し、スケジュール通り行動することを学ぶ。また調理や工作などの活動から、より多くの食品や素材に触れ、好き嫌いを低減しつつ生活を豊かにすることを図る。

「運動・感覚」

公園や教具を使用した遊びを通して、身体を動かす粗大運動を向上させつつ、工作や調理から微細運動への支援を行う。

「認知・行動」

集団で外出や活動を行い、外出や集団でのルールや行動を学び、その中から集団で過ごすための情緒の安定を学べるよう、スタッフからの声掛けなどの支援を行う。また活動において、成功体験だけでなく失敗体験も積ませることで、失敗に対して対応できるより柔軟なところを身につけられるよう支援を行う。

「言語・コミュニケーション」

活動は基本的に集団で行い、他の児童との関わりを持てるようにし、適宜スタッフからの言葉かけなどの支援を導入しつつ、コミュニケーション力の向上を図る。

「人間関係・社会性」

遊びの中にスタッフも交わり、大人を通しての子ども同士の間人間関係を構築し、集団で行動する楽しみや人と関わる心地よさを体験できるよう働きかける。